

令和8年1月9日(金)



おもしろプチ博物館！！ 巨大なもの、珍しいものがいっぱい

沖本先生の
おもしろプチ博物館

日本や世界中の珍奇で魅力的な変わった生き物たちを実物の標本で毎週紹介していきます！

ノコギリエイ 別名：鎌魚

脊索動物門 軟骨魚綱 ノコギリエイ目 ノコギリエイ科

- 最大7mになり、世界最大の淡水魚ともいわれている。
- ノコギリ部分の割合は全長の25%（四分の一）程度。
- 展示標本は1.2mなので、持ち主の全長は4.8mになる。
- 世界中の海水が温暖な浅瀬から汽水域（海水と淡水が混る）に生息。
- 世界に約7種が生息。⇒付属のパネルを見てね！
- 外向きに並ぶ2列の歯は泳いでいる獲物を突き刺し弱らせるため！⇒この吻には獲物が出す微電気を感じるロレンチーニ器官をもつ。
- 歯列は皮膚にある突起状の「皮歯（鱗）」がノコギリ状に進化した。ワシントン条約附属書Iに掲載されている絶滅危惧種。



次回予告

世界一大きな植物の○○を展示します。
実物を見たことがある人はまずいないと思います！
さわったり、もつこともできます！
お楽しみに！

12月下旬から、南学園の図書館に“日本や世界の珍奇な生き物”の実物が週替わりで展示されています。岐阜農林高校の沖本先生のご厚意で、コレクションの一部をお借りしています。

子ども達には、見て！ 觸って！ 持って！…と、貴重な体験です。

今、「ノコギリエイ」のノコギリ(1m20cm)が展示されており、実物を前にした子ども達は歓声を上げています。興味をもった子の中には、本棚から図鑑を持ってきて広げている子もいました。次回の予告もされており、次はどんな生き物がやってくるのか楽しみです。